



動け!

天候にも恵まれ、園児からお年寄りまで、幅広い年齢のかたが曳き家イベントに参加しました。見物客も合わせると約1,000人が集まって、この一大イベントを盛り上げました。

滑車とローラーを利用したため、予想以上に簡単に曳くことができ、合計で約16メートルの移動に成功しました。



天候も良く、汗だくになって綱を引っ張る参加者



福井木遣り愛好会による梯子の演技や、勝山高校日本文化部の太鼓演奏も会場を盛り上げました。



せ〜の!

みんなので引っ張れ!

勝山市旧機業場曳き家イベント

7月7日、七夕の日に市指定文化財の「勝山市旧機業場の曳き家イベント」が行われました。参加した約200人の手によって、延べ床面積1000㎡、総重量240トンもの木造建築物が、ゆっくりと移動する様子に、訪れたかたや参加者は驚きと好奇の目で眺めていました。

勝山市旧機業場の歴史と概要

右の建物は明治37年(1904)の操業で、繊維産地として知られる勝山における中堅機業場として平成10年(1998)まで操業していました。

平成10年に土地とともに勝山市の所有物となつて、一時は解体撤去が決まりました。約半分が解体されたときに、有識者から産業遺産としての重要性を指摘する声が上がつて、現在まで残されてきたのです。

そして、平成18年(2006)12月に、この建物が福井県内でも大変希少価値が高く、当時の雰囲気をよく残していることから、市の文化財として指定されました。

現在残っている建物のうち、玄関・事務所棟と第2工場棟の西側5間分が創業当初からあった建築で、その他の部分は、大正4年(1915)の増設建築です。



レールにはメジャーが付けられ、距離を正確に測定しました



大沢 吉穂さん(72)
=長山2=
思っていたより楽に曳けました。よい思い出になりました。



左から
澤田 葉月さん(成器西小5年)
多田 泉さん(成器西小4年)
1、2回目は重くて手が痛かったけど、3回目の滑車が付いた綱は楽に早く進みました。



後列左から
藤村ひかるさん(34) =元町2=
荒井 悦子さん(47) =元町1=
鳥山みゆきさん(47) =旭町2=
平泉 博子さん(40) =旭町1=
最初は手応えがなく拍子抜けしましたが、3回目の30人曳きは手応えがありました。